

# 東 部



沼津支局  
〒410-0036  
沼津市平町18-20  
川口第二ビル2階  
電 話  
055(962)5167  
F A X  
055(951)6965

## 消防署新庁舎等建設

# 公募プロポで月内

### 小山町



既存消防庁舎

小山町は、小山消防署新庁舎等建設事業を10月中に公募型プロポーザル方式で発注する。納期は約30カ月、総予算額は24億円を見込む。同プロポには詳細設計、建築工事(消防庁舎、訓練、防災倉庫など)、造成工事(造成、調整池、排水、町道拡幅など)が含まれる。

同事業は既存の小山町消防署庁舎(菅沼359ノ2)が老朽化や消防需要の変化に対応できないことから、建て替えを進めていくもの。消防力を最大限に発揮でき、災害に強く経済性に配慮した庁舎を目指す。既存庁舎は1972年建設。敷地面積は1340平方メートル、庁舎は鉄筋コンクリート造2階建て。新庁舎計画地は棚頭字外ノ原542ノ2。取り付き道路は町道原向中日向線、3894号線、3573号線。敷地面積は6901平方メートル。新庁舎の規模は、現段階では鉄筋コンクリート造2階建て延べ約2500平方メートルを想定する。

また、庁舎の他に防災倉庫(鉄骨造平屋約200平方メートル)、訓練棟(鉄筋コンクリート造4階建て延べ約250平方メートル)、調整池も設置する。ヘリポートの設置も念頭に進めており、屋外施設総面積は3894平方メートルになる見通し。造成工事費で5億6817万円、庁舎概算工事費(訓練棟など含む)は14億6984万円を見込む。基本設計は着設計(御殿場市)が担当した。

### 田子の浦港管理 不法係留対策で斜路設置 沼川の小型収容施設

静岡県田子の浦港管理事務所は、プレジャーボートの不法係留対策として、沼川の小型収容施設に接続する斜路の設置を計画しており、11月30日



小型収容施設に接続する斜路の整備予定地

納期で設計業務を進めている。関連予算を繰り越して計上しており、県議会12月定例会で議決されれば、2024年2月にも工事を発注する予定だ。

小型収容施設(面積7400平方メートル、約50隻分収容)に接続する、幅4.5メートル長さ30メートルの斜路を設置する予定。工事場所は富士市依田橋所は富士市依田橋地先。設計業務は建設コンサルタントセンター(静岡市清水区)が担当。

## 沼津市 高架下空間等利活用検討 プロポ結果 日建と契約

沼津市は、「沼津市中心市街地まちづくり戦略 沼津駅前近高架下空間等利活用方針検討業務」について、公募型プロポーザルを実施した結果、日建設計名古屋オフィス(名古屋市中区)と契約した。契約金額は965万8000円(税込み)。業務では、「戦略1」業務で、

「出」の実現に向けて、沼津駅周辺の土地利用を踏まえたヒトの動線確保などの条件整理を行うこと

野川支川大井川において、砂防堰堤の概略設計業務に着手した。2023年度内に成果をまとめ、24年度以降に詳細設計に取りかかる。

歩道詳細設計に着手 伊東修善寺線道路改築 静岡県沼津土木事務所は、伊豆市年川地内の伊東修善寺線道路改築で、歩道詳細設計業務に着手した。2023年度内に成果をまとめ、24年度以降の工事発注に備える。歩道の延長は約1000メートル。

## 下田土木 七滝高架橋 塗装工など24年度

静岡県下田土木事務所は、河津町梨本町内の国道414号上に架かる七滝高架橋の補修工事などを計画している。2023年度の事業として、橋梁補修に伴う設計業務



上空から見た七滝高架橋

1978年の地震による土砂崩れの教訓を生かした工法を採用して81年に架設された。上部工はループ橋部分。伊豆市側・下田市側でそれぞれ3径間連続非合成箱桁橋6連、2径間連続非合成箱桁橋1連、3径間連続非合成箱桁橋3基、逆Y型橋脚3基を対象に補修設計を行

い、24年度以降に補修工事を実施する。内容としては、劣化した塗装の塗り替え工などを予定している。県が3月に改訂した道路整備計画の中では、同じ国道414号上の天城大橋(伊豆市、橋長61メートル)、三本松橋(伊豆市、橋長26メートル)、中村大橋(下田市、橋長64メートル)なども補修事業の対象となつて

業務は東海建設コンサルタント(沼津市)が担当。

## 地域 NEWS

### 中豆・小野JV 安全を祈願

伊豆市リサイクルセンター(菊地豊市長)が計画する「(仮称)伊豆市リサイクルセンター建設工事」の安全祈願祭が市内の建設地で行われた。安全祈願祭には菊地市長や伊豆市議会の青木靖議長、設計・施工を担当



する中豆・小野特定建設工事共同企業体の山本裕二社長(伊豆市)、中豆建設、小野大和社長(三島市、小野建設)らが出席。神事では神主によるお祓いや玉串拝礼、くわ

### ウッドリサイクルセンター稼働開始

サンフジ(御殿場市、芹澤巨社長)は御殿場市内にウッドリサイクルセンターを竣工、1日より稼働を開始している。場所は御殿場市保土沢1092。敷地面積は1万2395平方メートル。処理能力は135トン/日、保



伐採工事などにも取り組んでいる。自社の開発に伴う工事の需要が増えている点や自然災害が近年増加している中、地域へ自社として何ができるかを検討し、一般・産業廃棄物処理施設(木くず破砕)を建設した。また、御殿場市が宣言した御殿場木育宣言にも参画している。連絡先は電話0550(70)7724、ファクス0550(70)7725。

## 地域貢献 七尾団地で清掃活動

小林電気工業(沼津市、小林克也社長)は、現在施工中の一県営住宅七尾団地A棟建替事業(電気設備工事)現場で、小



林社長はじめ社員5人が地域貢献活動の一環として、現場周辺地域の住民集会場およびその周辺道路で、清掃活動を行いごみ拾いに取り組んだ。写真

真。清掃活動前に小林社長は「七尾団地の住民の皆様が工事中も気持ちよく生活できるように、日頃からあいさつやごみ拾いを率先して行おう」と話した。また、併せて工事現場の安全パトロールを実施した。